

平成 3 1 年

第 1 回仙北市議会臨時会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 3 1 年 1 月 2 9 日

平成31年第1回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇仙北市育英奨学資金貸与制度について

育英奨学資金については、事務の取り扱い体制、チェック体制、収納対策、原資の確保等について検討を重ね、健全・円滑な運用強化対策を定め、これに基づき事務改善に取り組みながら作業等行っている状況です。また、財産区等基金に寄付をいただいた団体へ、この度の現金の残高不足を招いた状況を報告し、ご理解をいただいたところです。

今後、2月中旬に第1回仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会の開催を予定しており、基金の運用、制度の見直し等についてご意見を頂戴するとともに、議会の皆様ともご協議させていただきたいと考えております。

現在は、来月より受付を開始する、平成31年度奨学生の募集関係事務や、例年より1ヶ月早い督促、催告通知書の発送及び電話連絡、訪問徴収を行うなど収納強化に努めている状況です。

◇文部科学大臣優秀教職員表彰について

1月15日、角館小学校佐々木紀子教諭が、東京大学安田講堂において平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞しました。

これは、学校教育において教育実践等に顕著な成果を挙げられた方を優秀教職員として表彰するもので、佐々木教諭のこれまでの特別支援教育における研究・実践の取り組みが大いに評価され今回の受賞となったものです。

◇中学校スキー大会での活躍について

1月11日から第62回秋田県中学校スキー大会がたざわ湖スキ

一場を会場に行われました。

アルペンでは、角館中学校 1 年鎌田宇朗（かまだ ねお）さんが男子回転で第 2 位、同じく角館中学校 3 年鎌田匠人（かまだ しょうと）さんが男子大回転、男子回転でいずれも第 3 位、同じく角館中学校 2 年佐々木爽楽（ささき そら）さんが女子大回転、女子回転でいずれも第 8 位の成績を収めました。

ノルディックでは、生保内中学校 2 年鈴木勇太郎（すずき ゆうたろう）さんが男子 5 キロクラシカルで第 10 位、神代中学校布谷航斗（ぬのや かずと）さんが男子 5 キロフリーで第 13 位、男子リレーで神代中学校が第 3 位の成績を収めました。

角館中学校 鎌田宇朗（かまだ ねお）さん、鎌田匠人（かまだ しょうと）さん、生保内中学校 鈴木勇太郎（すずき ゆうたろう）さんは、この後、宮城県オニコウベスキー場及び岩手県田山クロスカントリーコースで行わる第 55 回東北中学校スキー大会と新潟県苗場スキー場及び十日町市吉田クロスカントリー競技場で行われる第 56 回全国中学校スキー大会に、角館中学校 2 年佐々木爽楽（ささき そら）さんと神代中学校布谷航斗（ぬのや かずと）さんは東北中学校スキー大会に出場する予定です。

【学校給食センター】

◇角館学校給食センター給食休止について

1 月 9 日、水道水が出ないため調査をしたところ、地下に埋設してある給湯管の腐食が原因と判明しましたが、修理及びセンター内の清掃業務等の作業があるため、10 日に角館地区の各小中学校に事情を説明し、15 日から 18 日まで給食を休止させていただきました。児童、生徒、保護者並びに学校関係の皆様には、ご心配、ご迷惑をおかけ致しました。心からお詫び申し上げます。

今後、このようなことのないよう施設の管理により一層の注意を払い、安心して安全な美味しい給食の提供に努めます。

◇学校給食での「御狩場焼」の提供について

学校給食では、1月24日の「学校給食記念日」に合わせ、仙北市内の全小中学校と、大曲支援学校せんぼく校の給食で、「御狩場焼」を提供しました。

この「御狩場焼」は、江戸時代に一帯を治めた佐竹北家伝承の料理で、今回の給食では鳥もも肉を焼き、甘めにアレンジされた山椒味噌を添えて提供しました。子供たちは、香ばしく焼けた鶏肉と香りの良い山椒味噌を口いっぱいほおぼり、郷土に伝わる伝統料理を堪能していました。

今後も、学校給食では、地場産物や郷土料理などを取り入れ、児童生徒の郷土を大切に作る心が育つよう努力していきます。

【公民館】

◇新春書き初め大会について

1月5日、角館交流センターを会場に「第14回仙北市新春書き初め大会」を開催しました。小学生の部に23人、中学生の部に4人、高校生の部に16人の合計43人が参加し、「春の足音」や「輝く未来」など学年毎の課題に取り組み、厳粛な空気が漂うなか新年への思いを込め真剣に筆を運んでいました。

また、審査の合間に、角館高校書道部による書道パフォーマンスが披露され、「一陽来福」と題し、10畳ほどの大きな紙に「悩んだり泣いたりする今日もあきらめないで進め、どんな時も笑顔で君らしく咲かせよう、陽の光浴びた一輪の花」という詩をBGMに合わせながら、手際よく迫力ある筆さばきで書き上げると、会場内は拍手に包まれ、大いに盛り上がりました。

この大会で書かれた作品は、1月7日から18日までタカヤナギワンダーモール店に展示され、市内外の多くの方々に鑑賞していただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇新潮社記念文学館について

新潮社記念文学館では、1月1日から4日まで、お正月の特別開館を行いました。4日間で19人が入館し、1時間から2時間ほどを掛けてじっくりと文学の世界を楽しまれました。あいにくの天候の中、ラウンジで暖をとる来訪者も多く見受けられました。

開催中の企画展「佐竹北家日記にみる天文現象展」では、2月10日より「天文年鑑」の藤井旭（あきら）さんの写真を特別追加展示の予定です。藤井旭さんは、天文写真家で、天文に関する著書も多く執筆されています。会期中の3月29日まで多くの方々にお出でいただきたいと思えます。

【スポーツ振興課】

◇フリースタイルスキーモーグルジュニアキャンプについて

F I S（国際スキー連盟）フリースタイルスキーワールドカップのモーグル競技は、5回目の開催となりますが、地元の子供たちの中からモーグルの選手発掘と育成を図るため、1月19日と20日に、秋田県フリースタイルスキーモーグルジュニアキャンプが、たざわ湖スキー場で開催されました。

このキャンプは、県と市の共催により行われたもので、市内から参加した小・中学生23人、市外から8人の計31人の参加者で実施されました。

キャンプでは、初心者と経験のあるグループに分かれ、県スキー連盟の方々から基本的な滑りや実践的なターンなどの指導を受け、コブの中の滑りを繰り返しながら、ワクワク、ドキドキ感を楽しんでいるようでした。

今後も、こうした機会を提供しながら、子供たちの中から未来の選手が出てきてくれることを願うとともに、モーグルの聖地として地域を盛り上げるため取り組んでいきます。

◇ 2019 フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会/
2019 FIS（国際スキー連盟）フリースタイルスキー
ワールドカップ秋田たざわ湖大会について

2月2日と3日に、たざわ湖スキー場で2019フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会が開催されます。

6回目の開催となるこの大会は、2月2日にモーグル競技、3日にデュアルモーグル競技を行います。

本大会では、2019 FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会派遣選考基準、ジュニア世界選手権派遣選考基準の選考レースを兼ねて行われることとなっております。

また、2月23日と24日に5回目となる、2019 FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会が、たざわ湖スキー場で開催されます。

本大会でも、世界トップレベルのスピード感あふれるターンやエアを間近で見ることができるほか、上村愛子さんから大会アンバサダーとしてお手伝いをいただくことになっております。上村さんの爽やかな笑顔とレース解説で会場内を盛り上げていただき、魅力満載の大会となるものと期待しております。

両大会で使用する黒森山モーグルコースは、眼下に田沢湖を一望するロケーションで、国際的にもフリースタイルスキー関係者から高い評価を得ております。

また、コース整備に関しては、地元の競技役員の皆さんが技術力向上に取り組みながら、エア台、コブの設置にご尽力いただいているお陰で、良好なコンディションで大会を迎えることができっております。

現在はコース、会場の雪不足が心配されておりますが、競技のための環境整備はもちろんのこと、観客等へのおもてなしにも心を配り、昨年以上の盛り上がりとなるよう取り組んでいきます。

また、2月8日、9日にアメリカのパークシティで開催されるフリースタイルスキーの世界選手権に、FIS フリースタイルスキー

部最高責任者のジョセフ・フィッツジェラルド氏と秋田県からの要請により、秋田たざわ湖大会競技委員長の田口晶英（たぐち しょうえい）氏とスポーツ振興課職員1名がモーグル競技の視察を実施することとなりました。F I S関係者との情報交換により、今後の大会運営や競技環境の充実に努めていきます。

【平福記念美術館】

◇児童生徒県南美術展について

12月1日から1月27日まで、「第41回児童生徒県南美術展」を開催しました。今年は県南地区の小・中学校81校から993点出品がありました。昨年と比べ小学校では1校増、中学校では1校減で出品数は44点減少になりました。

1月24日の審査会では、特賞23点、奨励賞201点、入選769点が決定しました。

特賞の仙北市長賞に、角館小学校1年茂木一花（もてぎ いちか）さんと角館中学校3年高橋真央（たかはし まお）さん、仙北市教育委員会教育長賞に、神代中学校3年安藤聖那（あんどう せな）さん、高倉壮一郎（たかくら そういちろう）さん、高橋翔愛（たかはし とあ）さん、藤本彩愛（ふじもと さちか）さんの団体、角館町平福記念美術館長賞に、神代中学校1年尾樽部こころ（おたるべ こころ）さん、秋田魁新報社賞に、角館中学校3年辻雛（つじ ひいな）さんが選ばれました。

1月19日には、特賞受賞者の表彰式を開催し、賞状と記念品を授与しました。審査委員長の佐々木良三秋田大学名誉教授からは、出品作品について、子どもたちの表現力や発想などについて詳しい講評をいただきました。

また、12月15日から1月25日まで、角館中学校全校生徒による「お気に入りの角館展」と題した、町内の風景画等の作品展示を実施しました。

◇正月三ヶ日の特別開館について

今年も年始期間の1日から3日まで特別開館しました。3日間で297人のご来館者があり、ご家族連れなど多くのお客様に児童・生徒の力作を楽しんでいただきました。

以上、教育行政に関する報告を申し上げ、教育行政報告といたします。